

# EUROPEAN PATENT OFFICE

## Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 58106975  
PUBLICATION DATE : 25-06-83

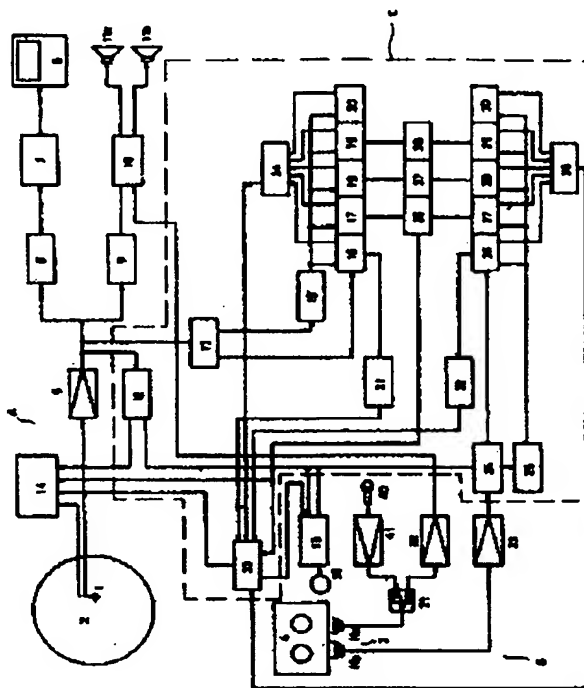
APPLICATION DATE : 21-12-81  
APPLICATION NUMBER : 56206587

APPLICANT : SANYO ELECTRIC CO LTD;

INVENTOR : NAKASHIBA SHINICHI;

INT.CL. : H04N 5/76 G11B 5/86 G11B 27/02

TITLE : INFORMATION PROCESSING DEVICE



**ABSTRACT :** PURPOSE: To output additional sound information simultaneously, by making control of the operation mode of a VTR possible by operation mode control information reproduced in a video disc device, or control of the operation mode vice versa.

CONSTITUTION: When a cassette tape 4 is run in the play mode, set control information is reproduced by a magnetic head Hb, and a mode code held in a latch circuit 26 is transmitted to a decoder circuit 32. Simultaneously, information of the mode code is transmitted to a radial servo circuit 14 through a system control circuit 33 by the operation of the circuit 32, and the operation mode of a video disc device A is controlled by the operation of the circuit 14. Meanwhile, when the operation of a cassette tape recorder B is controlled by disc control information of a video disc 2 reproduced by a reproducing sensor 1, disc information is held in latch circuits 16-20. Simultaneously, a mode code held in the circuit 16 is transmitted to a controlling circuit 15 through the decoder circuit 32 and the circuit 33, and the operation mode of the recorder B is controlled.

COPYRIGHT: (C)1983,JPO&Japio

BEST AVAILABLE COPY

⑨ 日本国特許庁 (JP)  
⑫ 公開特許公報 (A)

⑪ 特許出願公開  
昭58—106975

⑬ Int. Cl.<sup>3</sup>  
H 04 N 5/76  
G 11 B 5/86  
27/02

識別記号

庁内整理番号  
7334—5C  
6433—5D  
6507—5D

⑭ 公開 昭和58年(1983)6月25日

発明の数 1  
審査請求 未請求

(全 10 頁)

⑮ 情報処理装置

⑯ 特 願 昭56—206587  
⑰ 出 願 昭56(1981)12月21日  
⑱ 発 明 者 中芝信一

守口市京阪本通2丁目18番地三  
洋電機株式会社内  
⑲ 出 願 人 三洋電機株式会社  
守口市京阪本通2丁目18番地  
⑳ 代 理 人 弁理士 藤田龍太郎

明 細 書

1 発明の名称

情報処理装置

2 特許請求の範囲

① 第1動作モード制御情報を有する第1情報の記録再生用の第1媒体と、前記第1情報を再生する第1再生用センサが設けられるとともに第1駆動系により駆動される第1再生装置と、第2動作モード制御情報を有する第2情報の記録再生用の第2媒体と、前記第2情報を再生する第2再生用センサが設けられるとともに第2駆動系により駆動される第2再生装置と、少なくとも前記第1動作モード制御情報による前記第2再生装置の動作モードの制御および前記第2動作モード制御情報による前記第1再生装置の動作モードの制御を行なう制御部とを備えたことを特徴とする情報処理装置。

② 制御部により、第1動作モード制御情報または第2動作モード制御情報にもとづく第1再生装置および第2再生装置の動作モードの制御を行

なうことを特徴とする特許請求の範囲第1項に記載の情報処理装置。

3 発明の詳細な説明

この発明は、第1再生装置であるたとえばビデオディスク装置と第2再生装置であるたとえばテープレコーダとを備え、ビデオディスク装置により再生された動作モード制御情報によるテープレコーダの動作モードの制御およびテープレコーダにより再生された動作モード制御情報によるビデオディスク装置の動作モードの制御を行なうようにした情報処理装置に関する。

従来、たとえば、静止再生および高速、低速再生可能なビデオディスク装置を用いてゴルフスイングの解説を行なったりする場合、ビデオディスク装置によりビデオディスクに記録されたゴルフスイングをスローモーション再生したり静止面再生したりするとともに、スローモーション再生や静止面再生されたゴルフスイングに対して、ビデオディスクに予じめ記録された解説音声とは別に追加的な解説音声を同時に出力し、より効果的な

解説を行なうことが望まれる。

また、ビデオディスク装置に用いられるビデオディスクがビデオテープレコーダに用いられるビデオテープより安価に入手することができるため、たとえば表や図面などを表示して教育訓練を行なう場合、ビデオテープレコーダを用いるよりビデオディスクを用いた方が経済的に有益なものとなる。

しかし、一般的なビデオディスク装置は通常記録機能を有しないため、前述の追加的な解説音声などをビデオディスクに記録することは非常に困難であり、さらに、ビデオディスクには映像や音声情報とともに各種制御情報を記録する必要があり、追加的な解説音声などを記録するときには、追加的な解説音声とともに、映像情報に対応する制御情報と同一の制御情報を記録する必要がある。また、スローモーション再生や静止画再生などの特殊再生のときに、特殊再生に同調させてビデオディスクに記録された追加的な解説音声などを再生することは不可能である。

るとともに、第2磁気ヘッド(Hb)が再生用ヘッドにより形成されている。また、前述のディスク制御情報が、第2図に示すように、同期情報部(SC)の同期コード、モード情報部(MC)のモードコード、アドレス情報部(ACa),(ACb),(ACc)のアドレスコードおよびパリティ情報部(PC)のパリティコードからなるとともに、映像情報の1フレーム期間、すなわち1/80秒間における垂直ブランキング期間に、ディスク制御情報が再生処理され、前述のカセット制御情報が、第8図に示すように、同期情報部(SC)',モード情報部(MC)',アドレス情報部(ACa)',(ACb)',(ACc)'およびパリティ情報部(PC)'それぞれの同期コード、モードコード、アドレスコード、パリティコード、すなわちディスク制御情報と同種の情報からなり、各部(SC)',(MC)',(ACa)',(ACb)',(ACc)',(PC)'および空白部(BK)が前述の1/80秒で再生される。すなわち、カセットテープ(4)に解説音声などの音声情報とともに、ディスク制御情報と同種のカセット制御情報が記録されている。

この発明は、前記の点に留意してなされたものであり、つぎにこの発明を、その1実施例を示した第1図以下の図面とともに詳細に説明する。

すなわち、第1再生装置を静止画再生および高速、低速再生可能なビデオディスク装置により形成するとともに第2再生装置を、2チャンネルすなわちステレオ録再生可能なカセットテープレコーダで形成し、第1図に示すように、ビデオディスク(A)のトランスジューサすなわち第1再生用センサ(1)により、第1媒体であるビデオディスク(2)に記録された映像情報、音声情報および1フレームの映像情報毎に記録された第1<sup>音声</sup>制御情報(以下ディスク制御情報と称する)を再生するとともに、カセットテープレコーダ(B)の第1、第2磁気ヘッド(Ha),(Hb)からなる第2再生用センサ(3)により、第2媒体であるカセットテープ(4)の2チャンネルそれぞれに記録された前述の解説音声などの音声情報および第2<sup>音声</sup>制御情報(以下カセット制御情報と称する)を再生する。なお、第1磁気ヘッド(Ha)が録再生用ヘッドにより形成され

そして、第1再生用センサ(1)により再生された映像情報、すなわちビデオディスク(2)の映像情報が、増幅器(5)、バンドパスフィルタ(6)、映像信号処理回路(7)を介してビデオモニタすなわち映像表示装置(8)に伝送され、映像表示装置(8)に映像が再生されるとともに、第1再生用センサ(1)により再生された音声情報、すなわちビデオディスク(2)の音声情報が増幅器(5)、バンドパスフィルタ(6)、復調回路(9)を介してスピーカ(11a),(11b)それぞれに伝送され、スピーカ(11a),(11b)によりビデオディスク(2)の音声情報が再生される。また、第1再生用センサ(1)により再生されたディスク制御情報が増幅器(5)を介して垂直同期分離回路(12)、コード抜き取り回路(13)に伝送され、垂直同期分離回路(12)によりディスク制御情報の同期コードが分離抽出されるとともに、分離抽出された同期コードにもとづく垂直同期信号が第1再生センサ(1)のアクセス制御用のラジアルサーボ回路(14)およびカセットテープ(4)の駆動制御用のキャプスタンモータ制御回路(15)に伝送されて両回路(14),(15)の同期が

制御され、コード抜き取り回路13によりディスク制御情報のモードコード、アドレスコード、パリティコードそれぞれが抜き取られるとともに、コード抜き取り回路13の発振制御信号により同期発振回路16が駆動され、同期発振回路16からラッチ回路17, 18, 19, 20にタイミング信号が伝送され、コード抜き取り回路13のモードコードがラッチ回路17に伝送され、アドレスコードがラッチ回路18, 19に伝送され、パリティコードがラッチ回路20に伝送され、各コードがタイミング信号の制御により各ラッチ回路17~20それぞれに保持される。

一方、第1磁気ヘッド(Ha)により再生されたカセットテープ(2)の一方のチャンネルの音声情報が録音接点(r)、再生接点(p)を有する録再切換スイッチ21の再生接点(p)および増幅器22を介して復調回路23に伝送され、スピーカ(14)からカセットテープ(2)の音声情報、すなわち前述の付加的な解説音声などが出力される。また、第2磁気ヘッド(Hb)により再生されたカセットテープ(2)の他方

のチャンネルの制御情報、すなわちカセット制御情報が、増幅器22を介して同期信号抜き取り兼信号整形回路24に伝送され、当該回路24によりカセット制御情報の同期コードが抜き取られるとともに整形処理され、当該回路24からキャプスタンモータ制御回路25、同期発振回路26に同期信号が伝送され、同期発振回路26からラッチ回路27, 28, 29にタイミング信号が伝送され、増幅器22から同期信号抜き取り兼信号整形回路24を介して各ラッチ回路27~29にカセット制御情報のモードコード、アドレスコード、パリティコードが伝送されるときに、タイミング信号の制御により、ラッチ回路27にモードコードが保持され、ラッチ回路28~29にアドレスコードが保持され、ラッチ回路29にパリティコードが保持される。

そして、ラッチ回路27に保持されたディスク制御情報のモードコードがデコーダ回路30に伝送されるときに、ラッチ回路28に保持されたカセット制御情報のモードコードがデコーダ回路30に伝送され、両デコーダ回路30, 30のデコーダ出力信

号がシステムコントロール回路31に伝送され、さらに、ラッチ回路29のパリティコードおよび各ラッチ回路27~28のパリティコードがパリティチェック回路32に伝送されるときに、パリティチェック回路32のチェック信号がシステムコントロール回路31に伝送され、ラッチ回路29のパリティコードおよび各ラッチ回路27~28のパリティコードがパリティチェック回路32に伝送されるときに、パリティチェック回路32のチェック信号がシステムコントロール回路31に伝送される。

また、ラッチ回路17, 18のアドレスコードが比較回路33に伝送され、ラッチ回路19, 20のアドレスコードが比較回路33に伝送され、ラッチ回路17, 18のアドレスコードが比較回路33に伝送され、各比較回路33~33が演算機能を有するとともに、各比較回路33~33の比較出力信号がラジアルサーボ回路34、システムコントロール回路31に伝送され、ラジアルサーボ回路34にアドレス変位量が入力される。

さらに、システムコントロール回路31からラジ

アルサーボ回路34、キャプスタンモータ制御回路35それぞれに制御信号が出力され、ラジアルサーボ回路34の出力により第1再生用センサ(11)の再生アドレス位置が制御されるとともに、キャプスタンモータ制御回路35の出力によりキャプスタンモータ36の駆動が制御される。

なお、22は録音用マイクロホンであり、前述の追加的な解説音声などが、増幅器22および録、再切換スイッチ21の録音接点(r)、第1磁気ヘッド(Ha)を介してカセットテープ(2)に記録される。また、19は破線の回路構成からなる制御部である。

そして、第1図のシステムコントロール回路31が、第4図に示すように構成され、電源端子(+B)に接続された操作スイッチ(SW)が閉路され、抵抗(Rx)、コンデンサ(Cx)の微分回路を介して単安定マルチバイブレータ(MV)に起動パルスが伝送されると、単安定マルチバイブレータ(MV)の出力がオアゲート(OG1)を介してフリップフロップ(FF1)のセット端子(S)に伝送され、フリップフロップ(FF1)のQ出力端子Qの出力がオアゲート

ト(OG2)を介してキャプスタンモータ制御回路104に伝送され、該回路104から第1図のキャプスタンモータ105に駆動信号が供給され、キャプスタンモータ105の動作によりカセットテープレコーダ106の動作モードがストップモードからプレイモードに移行し、カセットテープ107が再生モードすなわちプレイモードで走行する。

さらに、カセットテープ107がプレイモードで走行すると、第2磁気ヘッド(Hb)によりカセットテープ107に予じめ記録されていたカセット制御情報が再生され、ラッチ回路108に保持されたモードコードがデコード回路109に伝送されるとともに、デコード回路109の動作により、モードコードの情報、キュー、レビュ、スロー、ステル、スタンバイ、テープストップそれぞれが検出され、各情報それぞれの検出により、デコード回路109のキュー出力端子(Oa)、レビュ出力端子(Ob)、スロー出力端子(Oc)、ステル出力端子(Od)、スタンバイ出力端子(Oe)、テープストップ出力端子(Of)それぞれから検出信号が出力される。

—入力端子(Ic)、ステル入力端子(Id)、ミュート入力端子(Ie)それぞれにデコード回路109の各出力端子(Oa)~(Oe)の検出信号が伝送され、ラジアルサーボ回路110の動作により、ビデオディスク装置111の動作モードが、スタンバイからプレイ、ステル、キュー、~~レビュ~~、スロー、ミュートに制御され、カセット制御情報によりビデオディスク装置111の動作モードが制御される。

また、各比較回路112~116からの比較出力信号がアンドゲート(AG11)を介してラジアルサーボ回路110の変量入力端子(Ig)に入力され、ラジアルサーボ回路110にアドレス変量が入力される。

なお、デコード回路109の各出力端子(Oa)~(Oe)の検出信号がオアゲート(OG8)を介してフリップフロップ(FF2)のセット端子(S)に伝送されると、フリップフロップ(FF2)のQ出力端子(Q)の出力がオアゲート(OG2)を介してキャプスタンモータ制御回路104に伝送され、このときカセットテープレコーダ106の動作モードがプレイモードに制御され、映像表示装置113により、ビデオディスク114の

そして、各出力端子(Oa)~(Of)それぞれの検出信号がアンドゲート(AG1),(AG2),(AG3),(AG4),(AG5),(AG6)それぞれに伝送され、このとき、パリティチェック回路103のチェック信号が各アンドゲート(AG1)~(AG6)に伝送されると、各アンドゲート(AG1)~(AG6)それぞれを介した各出力端子(Oa)~(Oe)それぞれの検出信号が、アンドゲート(AG7),(AG8),(AG9),(AG10),(AG11)それぞれおよびオアゲート(OG8)を介したフリップフロップ(FF2)のセット端子(S)に伝送される。また、アンドゲート(AG6)を介した検出信号がフリップフロップ(FF1)のリセット端子(R)、フリップフロップ(FF3)のセット端子(S)および遅延回路(DL)を介したフリップフロップ(FF2)のリセット端子(R)に伝送される。

さらに、各アンドゲート(AG7)~(AG11)にフリップフロップ(FF1)のQ出力端子(Q)の出力が伝送されるため、各アンドゲート(AG7)~(AG11)それぞれを介してラジアルサーボ回路110のキュー入力端子(Ia)、~~レビュ~~入力端子(Ib)、スロ

映像情報が再生されるとともに、スピーカ(11a),(11b)により、カセットテープ107の解説音声などが出力される。

また、デコード回路109のテープストップ端子(Of)から検出信号が出力されると、当該検出信号がアンドゲート(AG8)を介してフリップフロップ(FF1),(FF2)のリセット端子(R)およびフリップフロップ(FF3)のセット端子(S)に伝送され、フリップフロップ(FF1),(FF2)のQ出力端子(Q)の出力がしや断され、ラジアルサーボ回路110の各入力端子(Ia)~(Id)およびキャプスタンモータ制御回路104への信号がしや断されるとともに、フリップフロップ(FF3)のQ出力端子(Q)の出力がラジアルサーボ回路110のテープストップ入力端子(Ig)に伝送され、ビデオディスク装置111の動作モードがいわゆるストップモードに制御されると、第1再生センサ115によりディスク制御情報が再生され、ディスク制御情報のモードコードの情報、すなわちステル、バイリンガル、ステレオそれぞれ検出されると、フリップフロップ(FF3)のリセ

ット端子(4)に検出信号が伝送され、フリップフロップ(FF3)のQ出力端子(5)の出力がしや断され、ビデオディスク装置(A)の動作モードがいわゆるプレイモードに制御される。

なお、ビデオディスク装置(A)の動作モードがカセットテープ(4)のカセット制御情報により制御されているときには、ディスク制御情報によるビデオディスク装置(A)の動作モードの制御、すなわちステル、バイリンガリ、ステレオ、モノラルの制御は無効となる。

一方、第1再生用センサ(1)により再生されたビデオディスク(2)のディスク制御情報によりカセットテープレコーダ(4)の動作モードを制御するときには、第1再生用センサ(1)により再生されたビデオディスク(2)のディスク制御情報が、各ラッチ回路(8)〜(9)に保持されるとともに、ラッチ回路(8)に保持されたディスク制御情報のモードコードがデコード回路(10)に伝送され、デコード回路(10)の動作により、モードコードの情報、すなわちステル、バイリンガル、ステレオ、モノラルそれぞれが検出

され、各情報それぞれの検出によりデコード回路(10)のステル出力端子(0g)、バイリンガル出力端子(0h)、ステレオ出力端子(0i)、モノラル出力端子(0j)それぞれから検出信号が出力される。

そして、ステル出力端子(0g)の検出信号がアンドゲート(AG12)、オアゲート(OG1)を介してフリップフロップ(FF1)のセット端子(5)に伝送されると、フリップフロップ(FF1)のQ出力端子(6)の出力が、オアゲート(OG2)を介してキャプスタンモータ制御回路(11)に伝送され、キャプスタンモータ制御回路(11)の動作により、キャプスタンモータ(12)に起動信号が供給され、ビデオディスク装置(A)によりカセットテープレコーダ(4)の動作モードがステルモードに制御され、このとき、ビデオディスク装置(A)の動作モードがプレイモードに制御されるとともに、映像表示装置(8)、スピーカ(11a)、(11b)により、ビデオディスク(2)の映像情報の再生および音声の出力が行なわれる。

また、デコード回路(10)のバイリンガル出力端子(0h)の検出信号がアンドゲート(AG13)、オアゲ

ート(OG2)を介してキャプスタンモータ制御回路(11)に伝送されると、キャプスタンモータ制御回路(11)の動作により、カセットテープレコーダ(4)の動作モードがバイリンガルモードに制御され、スイッチ回路(10)の切り換えによりプレイモード、レコードモードに選択的に切り換え制御されるとともに、ビデオディスク装置(A)の動作モードがプレイモードに制御される。このとき、バイリンガル出力端子(0h)の検出信号が、アンドゲート(AG13)、オアゲート(OG4)、アンドゲート(AG14)を介してラジアルサーボ回路(14)のリセット入力端子(14a)に伝送され、カセットテープレコーダ(4)の動作により、第2磁気ヘッド(Hb)から不要なカセット制御情報が出力されるが、ラジアルサーボ回路(14)の動作により、各入力端子(14a)〜(14e)からの検出信号が、ラジアルサーボ回路(14)に内蔵されたノアゲート(図示せず)に伝送され、各出力端子(0a)〜(0e)からの検出信号がしや断されるとともに、前述のバイリンガル出力端子(0h)の検出信号がノアゲート(OG5)を介してフリップフロ

ップ(FF3)のリセット端子(4)に伝送され、ラジアルサーボ回路(14)のテープストップ入力端子(14g)への検出信号がしや断され、デコード回路(10)の各出力端子(0a)〜(0e)の不要な検出信号によるラジアルサーボ回路(14)の誤動作が防止される。また、ラジアルサーボ回路(14)の変位端子(14f)にアドレス変位が入力される。

さらに、デコード回路(10)のステレオ出力端子(0i)、モノラル出力端子(0j)の検出信号が、オアゲート(OG5)を介してフリップフロップ(FF3)のリセット端子(4)に伝送されると、フリップフロップ(FF3)のQ出力端子(6)の出力がしや断され、このとき、キャプスタンモータ制御回路(11)にはデコード回路(10)のステレオ出力端子(0i)からの検出信号が伝送されないため、キャプスタンモータ(12)が駆動されず、カセットテープレコーダ(4)の動作モードがストップモードに制御され、このとき、ビデオディスク装置(A)の動作モードがプレイモードに制御される。

すなわち、図5図(4)に示すように、期内T Aに、

カセットテープレコーダ(4)の動作モードがプレイモードになり、カセットテープ(4)のカセット制御情報におけるモードコードの検出により、キュー、レビュ、スロー、ステル、ミュート、テープストップが検出され、同図(b)に示すように、デコーダ回路22のキュー出力端子(Oa)、レビュ出力端子(Ob)、スロー出力端子(Oc)、ステル出力端子(Od)、スタンバイ出力端子(Oe)、テープストップ出力端子(Of)それぞれから順次に、検出信号が出力されると、同図(c)に示すように、ビデオディスク装置(A)の動作モードが、キュー、レビュ、スロー、ステル、スタンバイすなわちミュートに制御され、このとき同図(d)に示すように、デコーダ回路22のステル出力端子(Og)、バイリンガル出力端子(Oh)、ステレオ出力端子(Oi)、モノラル出力端子(Oj)それぞれからは検出信号が出力されず、ディスク制御情報がいわゆる無効となる。

一方、第5図(c)に示すように、期間TBに、ビデオディスク装置(A)の動作モードがプレイモードになり、ビデオディスク(2)のディスク制御情報に

おけるモードコードの検出により、ステレオ、モノラル、バイリンガル、モノラル、ステルが検出され、同図(d)に示すように、デコーダ回路22の各出力端子(Og)~(Oj)から検出信号が出力されると、同図(a)に示すように、カセットテープレコーダ(4)の動作モードが、ディスク制御情報のモードコードがステル、ステレオ、モノラルのときにストップモード制御され、モードコードがバイリンガルのときにスイッチ回路24の操作にもとづきプレイモードまたはレコードモードに制御される。なお、同図(b)の期間TBに示すように、デコーダ回路22の各出力端子(Oa)~(Of)からは検出信号が出力されず、カセット制御情報はいわゆる無効となる。

したがって、前記実施例によると、制御部(C)の動作により、ディスク制御情報によるカセットテープレコーダ(4)の動作モードの制御および、カセット制御情報によるビデオディスク装置(A)の動作モードの制御を行なうことができるとともに、ディスク制御情報によるビデオディスク装置(A)の動

作モードの制御およびカセット制御情報によるカセットテープレコーダの動作モードの制御も行なうことができ、たとえば、ビデオディスク(2)の映像情報を特殊再生しながら、カセットテープ(4)の解説音声を出力することができ、効果的な解説を行なうことができるとともに、安価な方法で教育訓練などを行なうことができる。

なお、前記実施例では、複数のデコーダ回路22、23やパリティチェック回路24、25を設けたが、たとえばディスク制御情報によりカセットテープレコーダ(4)の動作モードを制御するときには、1個のデコーダ回路、パリティチェック回路を設けるだけでよく、またデコーダ回路やパリティチェック回路を他の機能をも有する回路に置き換えてもよい。

また、垂直同期分離回路26からラジアルサーボ回路27、キャプスタンモータ制御回路28への出力を省略したり、同期信号抜き取り兼信号整形回路29からキャプスタンモータ制御回路28への出力を省略してもよい。

さらに、第1、第2再生装置をDAD、レコードプレーヤー、カセットテープレコーダ、ビデオテープレコーダなどで形成し、DADまたはレコードプレーヤーとビデオテープレコーダとを組み合わせたレコードプレーヤーとビデオテープレコーダとを組み合わせたりしてもよい。

以上のように、この発明の情報処理装置によると、制御部の動作により、第1媒体の第1動作モード制御情報による第2再生装置の動作モードの制御または、第2媒体の第2動作モード制御情報による第1再生装置の動作モードの制御を行なうことができるものである。

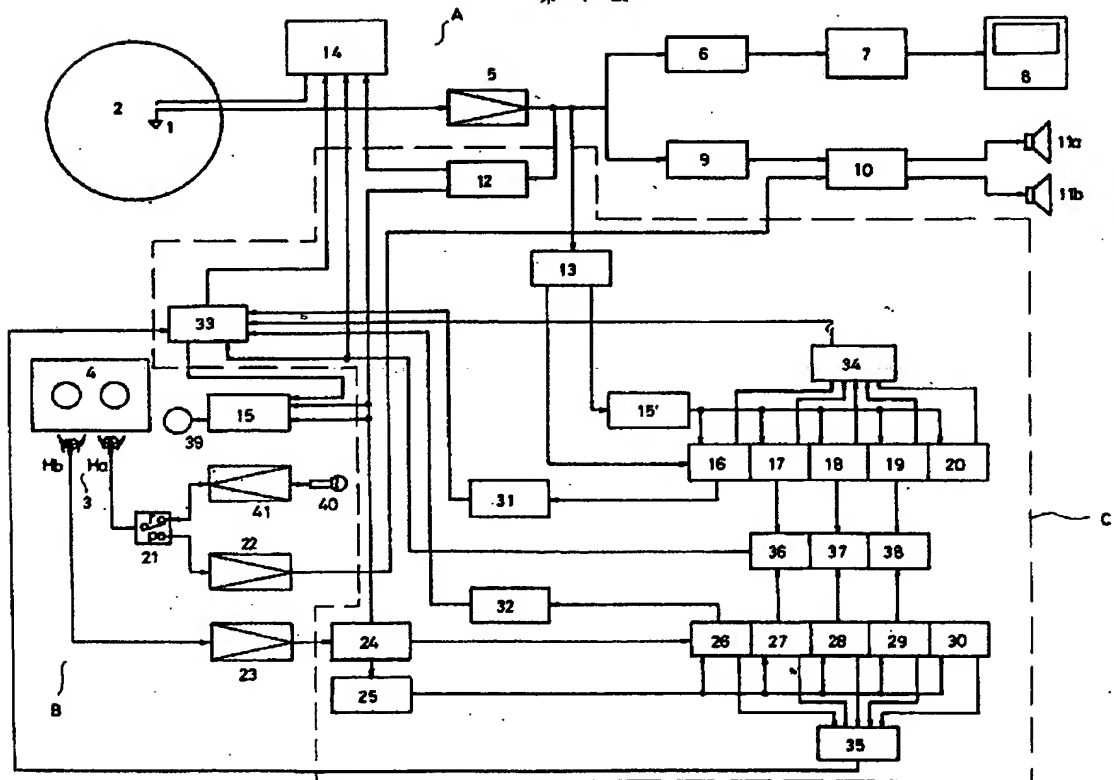
#### 4 図面の簡単な説明

図面はこの発明の情報処理装置の1実施例を示し、第1図はブロック図、第2図はディスク制御情報の説明図、第3図はカセット制御情報の説明図、第4図は第1図の一部の詳細なブロック図、第5図(a)~(d)は第1図および第4図の動作説明図タイミングチャートである。

(A)〜ビデオディスク装置、(B)〜カセットテープレコーダ、(C)〜制御部、(1)〜第1再生用センサ、

(2) …ビデオディスク、(3) …第2再生用センサ、(4)  
…カセットテープ。

第 1 図







## 手続補正書(自発)

昭和57年3月1日

特許庁長官殿

## 1 事件の表示

昭和56年特許願第206587号

## 2 発明の名称

情報処理装置

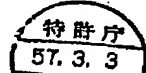
## 3 補正をする者

事件との関係 特許出願人

住所 大阪府守口市京阪本通2丁目18番地  
 名称 (188) 三洋電機株式会社  
 代表者 井 植 薫

## 4 代理人 〒530

住所 大阪市北区東天満2丁目9番4号  
 千代田ビル東館  
 氏名 (6151) 弁理士 藤田 龍太郎  
 電話 大阪 (06) 351-8733

5 補正の対象 明細書の「発明の詳細な説明」の欄  
および図面の第5図

## 6 補正の内容

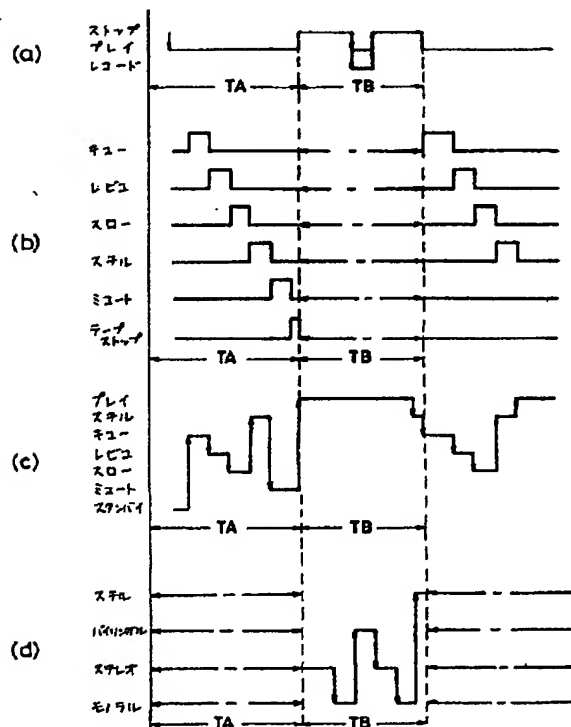
- (1) 第12頁第15行の「伝送される。」のつぎに「なお、遅延回路(DL)の動作によりカセットテープ(4)が検出位置から走行して停止し、テープストップの誤検出が防止される。」を挿入。
- (2) 第14頁第14行および第18頁第2行の「テープストップ入力端子」を「アドバンス入力端子」に補正。
- (3) 第14頁第16行の「いわゆるストップモードに制御されるが」を「プレイモードに制御され、」に補正。
- (4) 第15頁第8行の「いわゆる」を「ディスク情報にもとづき」に補正。
- (5) 第16頁第14～18行の「スチルモードに…行なわれる。」を「プレイモードに制御される。」に補正。
- (6) 第17頁第8行の「により」のつぎに「キャプスタンモータ回が回転し」を挿入。
- (7) 同頁第4行の「バイリンガルモードに制御され、」を削除。

(8) 同頁第20行の「ノアゲート」を「オアゲート」に補正。

(9) 第18頁第12～19行の「しや断され、…される。」を「しや断される。」に補正。

(10) 図面の第5図を別紙のとおり補正。

第5図



# 手続補正書(方式)

昭和57年5月28日

特許庁長官殿

## 1 事件の表示

昭和56年特許願第206587号

## 2 発明の名称

情報処理装置

## 3 補正をする者

事件との関係 特許出願人  
住所 大阪府守口市京阪本通2丁目18番地  
名称 (188)三洋電機株式会社  
代表者 井植 薫

## 4 代理人 〒530

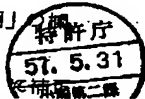
住所 大阪市北区東天満2丁目9番4号  
千代田ビル東館  
氏名 (6151)弁理士 藤田龍太郎  
電話 大阪(06)351-8733

## 5 補正命令の日付 昭和57年5月7日

## 6 補正の対象 明細書の「図面の簡単な説明」

## 7 補正の内容

(1) 第22頁第14行の「第1は」を「第1図は」



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**